

BTCC “

新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

モルガンスタンレー、イーサリアムのリスクについて警告

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/eth-risk>

モルガンスタンレー（Morgan Stanley）投資銀行は、ライバルとなるブロックチェーンとの競争激化に直面し、イーサリアム（ETH）の優位性が低下し始める可能性があるとして警告している。



イーサリアム（ETH）のリスク

同投資銀行のアナリストは、時価総額2位の仮想通貨であるイーサリアム（ETH）に関連するリスクを挙げ、[イーサリアム（ETH）](#)が[ビットコイン（BTC）](#)よりも分散化されていないと警告した。

上位100のイーサリアムアドレスがETHの供給量の39%を保持している一方で、上位100のビットコインアドレスはBTCの供給量のわずか14%を保持しているに過ぎない。

ボラティリティ（変動性）も懸念材料だと主張した。

「2018年以降、イーサリアムの60日変動率は、S&P500の約4～5倍となっている。注目すべきことは、2018年以降、イーサリアムのボラティリティはビットコインより約30%高くなっている。2021年、ETHの60日間のボラティリティは平均約86%で、S&P 500のおよそ7倍になった」という。

同アナリストは、イーサリアムのブロックチェーンが、[DeFi\(分散型金融\)](#)や[NFT\(非代替性トークン\)](#)などの確立されたユースケースによって、「スマートコントラクトプラットフォームの全く新しい市場を創造した」ことを認めているが、他のネットワークがその市場シェアを奪い始める可能性があることを懸念している。

ソラナ（SOL）は「より速く、より安いスマートコントラクト取引を可能にする」のため、特別に設計されており、カルダノ（ADA）はイーサリアムの最初の共同創設者の一人が開発したものであることを指摘している。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

イーサリアム（ETH）今後の課題

モルガン・スタンレーによると、イーサリアムの課題が、「今後も成長を続けられるかどうか」、または「スケーラビリティに与える影響」ということだ。

レポートは、このネットワークが「非常に大量のデータを保存する必要がある」ことを提示し、同時にライバル企業よりも高速で安価な取引を提供する必要があると述べた。

「ギガバイト単位で計測されるイーサリアムのブロックチェーンは、ビットコインよりも速く成長しており、そのメモリ要件はビットコインの半分の時間で上回った。時間の経過とともに、イーサリアムの

ストレージ需要は、変更しない限り、そのリソースを上回る可能性が高い」という。

同銀行はまた、高い取引手数料がすでにイーサリアムのネットワークを「少額取引には高すぎる」状態にしていることを指摘した。

モルガン・スタンレーはレポートの最後に、最大の未知数は規制かもしれないと付け加え、世界中の政府がキャッチアップするにつれて、風景が変わり始めていると述べた。

「イーサリアムの活動の多くはDeFi(分散型金融)とNFT(非代替性トークン)であり、この2つの分野は急速に規制が進化している。金融などの特定の市場セグメントがイーサリアムを使用することを制限または排除する規制は、イーサリアム取引の需要を減少させる可能性がある」とコメントした。